地域とともにある学校
魅力ある学校づくりを目指して

＜校　　訓＞
樹の如く伸びよ　　星の如く輝け
＜学校教育目標＞
自律する人間　共創する人間　錬磨する人間

2021/ 1/25（月）発行
校長通信　ＮＯ　７
北海道日高高等学校
谷　　尊　仁

２０２１年の希望に向けて

２０２１年がスタートしました。昨年来の新型コロナウィルスの猛威は一向に収まる気配の無い中での新年の幕開けとなりました。

年末年始も今までとは違う「新しい生活様式」で不要・不急の外出を避け、３密を回避し、同居家族以外での会食をしないなど、制約の多い生活を余儀なくされていました。そうした中にもかかわらず、医療従事者の皆さんは、年末年始も休むこと無く感染者の対応に追われる日々となっています。

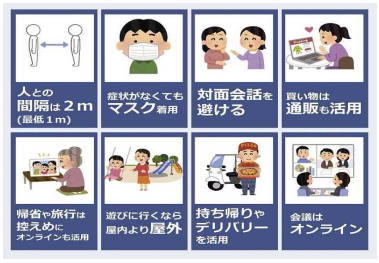
このコロナ禍の状況がいつまで続くのかは、予測がつかないところであります。一日も早く正常な生活に戻り、経済活動や医療体制など社会生活が安定するように願うしかありません。

そんな日をいち早く迎えるためには、一人ひとりが、マスクの正しい着用、３密回避、手洗い、手指消毒などしっかりとした感染対策を励行し、感染を広めない努力をしていくしかありません。個々人が高い意識を持って行動することが必要です。

本校の教育活動においても、言語活動やコミュニケーション能力向上に向けた授業展開や行事の運営など多岐にわたり制約を受けた中で「出来ることを出来る範囲」で実施してきました。

こうした中で生徒の皆さんには、感染予防対策の徹底から「自己を大切にする心」「他者を思いやる心」を培って欲しいと思います。そのことが、今後の皆さんの生活を豊かにしていくことであり、さらには、皆さんの大切な人を守っていくことに繋がっていきます。

一日も早く以前のような生活が出来るようになるように、みんなで頑張っていきましょう。





富川高校との交流



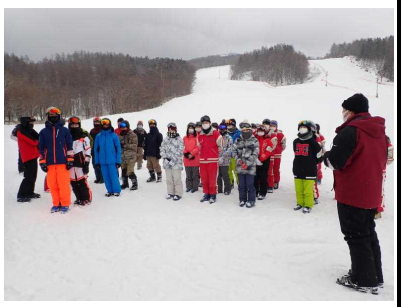
１月21日（木）に昨年度から実施されている富川高校１年生と本校１年生の交流事業を実施しました。

富川高校の宿泊研修でのスキー体験を本校１年生がアシストをする形で行っています。



なかなか、他校の生徒と接する機会の無い本校生にとっては、貴重な機会となっています。とは言え、スキー経験の少ない１年生が多いのですが、産業学習でスキーの練習をしているだけあって、そこそこの滑りでスキー体験をサポートしていました。

聞いた話ですが、転んでしまった富川高校の生徒が立ち上がろうとした時に手を差し伸べるなどの気遣いを見せていたそうです。



スキー体験のサポートという交流でしたが、生徒達にとっては、良い経験であったと思います。

保護者の皆様へ

新しい年が始まりました。冬季長期休業で久しぶりにお子様との時間を過ごされたことと思います。4月からの9ヶ月間でのお子様達の成長を感じられたでしょうか？

日高に戻ってきた生徒達も親元で休養して、元気に活動しております。これからも生徒の成長のために、皆様と協力しながら頑張って参ります。

HOKKAIDO HIDAKA HIGHSCHOOL